

介護・生活支援ロボット活用研究会 パネルディスカッション

日時 3月24日(月) 14:00~16:00

参加方法 ZOOMを用いたオンライン配信

※アーカイブ配信はございません



第3回 テーマ「令和7年度に向けて事業所が取り組むこと」

1. ディスカッション①

「各パネリストのご所属の法人・事業所の現状と、次年度に向けた取り組み」

2. ディスカッション②

「介護事業所の未来を語る」

3. 基調講演

【まだ間に合う！介護現場がこれから絶対意識すること・すべきこと】
お茶の水ケアサービス学院 学院長 神智淳氏



注目!

令和7年度は、団塊の世代と言われる約800万人が75歳以上の後期高齢者になる年。それに備えた施設における人材育成とデジタル機器の活用について等、介護事業所の未来を語り尽くします！

パネリストメンバー



社会福祉法人 吉祥会
寒川ホーム

今村 真

【経歴・所属】

福祉系大学卒業後、事務職として病院勤務するもすぐに退職。その後、目指してはいなかった特別養護老人ホームで勤務する。在宅・施設サービスで介護職として10年、その後は生活相談員・介護支援専門員として従事。現在は副施設長・管理者として従事するほか、新人介護職へ向けた定着・モチベーションアップを目的とした研修や地域向けの介護講座を開催。



社会福祉法人 秀峰会
施設事業部 事業部長

竹山 大二郎

【経歴・所属】

平成17年 社会福祉法人 秀峰会に入職。
平成21年 特別養護老人ホームの施設長を担当し、特養ホーム立ち上げやデイサービス・小規模多機能の統括部長となる。(現職)
ICTや介護ロボットの現場導入を積極的に展開。
介護・生活支援ロボット普及推進協議会の副委員長。



社会福祉法人 麗寿会
ふれあいの麗寿

高橋 大輔

【経歴・所属】

福祉系専門学校卒業後、社会福祉法人麗寿会に入職。認知症対応型通所介護や認知症共同生活介護にて認知症の方とその家族等へのケアを学ぶ。その後、新設特養の開設準備に携わり、施設相談員の経験を経て、現在は施設長として施設管理業務に従事中。法人内の認知症ケア向上と業務改善及びICT化の推進に注力。



お茶の水ケアサービス学院
学院長

神智淳

【経歴・所属】

福祉サービス第三者評価者、介護サービス情報公表の調査員の指導・育成に従事。各公益団体との共同研究や外部評価に関する講演や執筆活動を行うと共に、介護施設等のコンサルティングを行う。厚生労働省の老人保健健康推進事業として、「福祉用具専門相談員の質の向上に向けた調査研究事業」の検討委員。

コーディネーター
(公社) かながわ福祉サービス振興会
得永真人

詳細・お申込みはこちら↓



問い合わせ

公益社団法人 かながわ福祉サービス振興会

事業推進部 介護・生活支援ロボット普及推進協議会・活用研究会事務局

tel: 045-662-9538 email: robot@kanafuku.jp

